

2016年12月20日

当院で言語聴覚療法の治療を受けられた 患者さんならびにご家族へ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：注意欠陥多動性障害（ADHD）の対人コミュニケーション行動の特徴と訓練効果

◆研究の目的と概要◆

当院では、就学前の注意欠陥多動性障害（ADHD）の対人コミュニケーション行動の特徴および訓練効果を明らかにすることの目的で、言語聴覚療法の患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2015年4月から、2016年11月までの間に、注意欠陥多動性障害、自閉症スペクトラムなどの発達障害と診断もしくは疑われた方や、言語発達遅滞と診断された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、在胎週数、出生体重、各種検査（発達検査、知能検査、言語発達検査）の結果、対人コミュニケーション行動に関する治療経過

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 松尾 基史

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）